

「児島湖と児島湖流域の生物」ホームページの開設について

児島湖は、農業用水の貴重な水源であるとともに、豊かな水産資源を育む漁業基盤であり、また、周辺の自然豊かで広大な水辺環境は、西日本でも有数の冬鳥の飛来地として、親しまれている。

この豊かで貴重な児島湖とその流域の生物環境について、昨年度、調査を実施し、その一部を「児島湖移動水族館」として、県内11ヶ所で県民に公開してきた。

この度、四季の調査が終了したことから、学校での授業や環境学習の教材として、また、現地での野鳥や野草の観察等に気軽に利用してもらうようホームページに公開する。

1 調査期間

平成21年6月～平成22年2月

2 調査箇所

児島湖及び児島湖流域の計12地点

3 「児島湖と児島湖流域の生物」のホームページの内容（3ページ参照）

- (1) サイト案内: 児島湖の概要や調査の概要
- (2) 図鑑ページ: 児島湖流域の生物についてイラストや写真で説明
- (3) ヨシ分布調査: 児島湖周辺のヨシの生息分布
- (4) 絶滅危惧種: 児島湖流域の絶滅の恐れのある生物と保護活動
- (5) イベントレポート: 昨年度実施した「児島湖移動水族館」の様子
- (6) 調査風景: 調査の様子
- (7) 草花遊び: 児島湖周辺の草花を使った楽しみ方や遊び方
- (8) 飼育方法: 児島湖周辺で採取できる魚介類の飼い方・育て方
- (9) クッキング: 児島湖周辺の豊かな自然の恵みを活用したレシピ

4 開設年月日

平成22年4月下旬

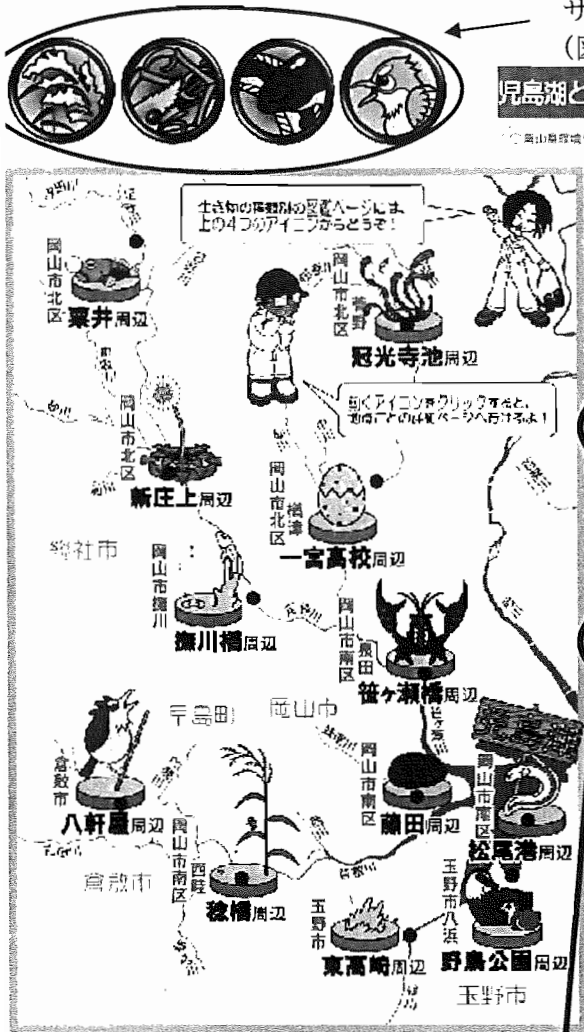
トップページ

(参考資料)

サブメニュー
(図鑑ページへ)

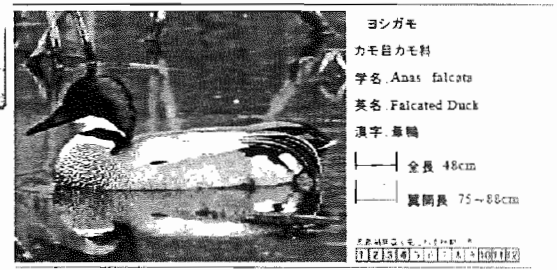
児島湖と児島湖流域の生物

岡山県環境部 自然環境課



- サイト案内
- ゴジ分布調査
- 絶滅危惧種
- バードポイント
- 調査風景
- 草花遊び
- 飼育方法

図鑑ページ (例)



ヨシガモ
カモ目カモ科
学名 Anas falcata
英名 Falcated Duck
漢字 蒼鴨
全長 48cm
翼開長 75~88cm

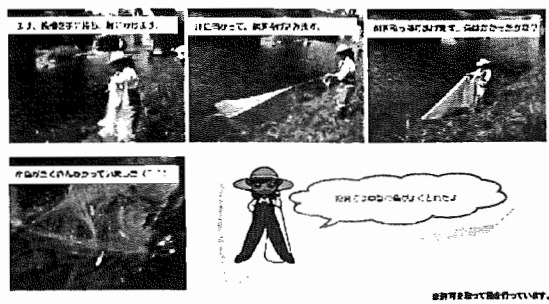
特徴
クマシは黒色で、頬(くまひ)は黒色です。翼端(よくきょう)は暗褐色です。足は灰色で短く、水かきがあります。
……オス(上の写真)
雌は濃い赤褐色で、目より前方の頬が黒い赤褐色です。鼻の根が長く伸びて唇(くまひ)は黒い赤褐色です。頬と首は白く、首の根のように見える黒帯があります。クマシの黒帯の中央に白い白帯がありよく目立ちます。背と腹は白色と黒色のとが混ざり、腹の黒帯に黒い帯が通ります。背と腹の黒帯の幅が狭く、尾は黒く、尾のふちが黒い帯に黒い帯が通ります。尾のふちが黒い帯に黒い帯が通ります。
……メス
全身に黒色で黒帯のまだら模様があります。オス種ではありませんが、鼻の根がやや長いです。

鳴き声
遠くから「ホイッ、ホイッ」などと言った声で鳴きます。
食べ物
主に植物食で草の種子、果実、野菜など、水生昆虫を食べることもあります。
すみか
湖沼、池、河川、内海、海など。
習性
主に冬鳥としてシベリア東部から渡来します。小さな群れをつくり、池のふちに集まることが多いです。ヨシガモは「オシガモ」に分類されています。(オスのメス参照)
メモ
カモの種類はその体色や生態様式により、オシガモとオシガモに分けることができます。オシガモは「オシガモ」とも呼ばれ、主に川や湖で生活し、水鳥や水鳥の餌を食べて育ち、卵を産みます。

調査風景



投網 (とあみ)



絶滅種

ここに掲載している生物は現在絶滅の恐れのある貴重な生物で、現地調査を行って絶滅を防ぐための取り組みをお願いします。

植物 5種	
	絶滅種レッドリスト: 準絶滅危惧種 (NT) 岡山県レッドデータブック: 準絶滅種
	絶滅種レッドリスト: 準絶滅危惧種 (NT) 岡山県レッドデータブック: 準絶滅種
	絶滅種レッドリスト: 準絶滅危惧種 (NT) 岡山県レッドデータブック: 準絶滅種
	絶滅種レッドリスト: 準絶滅危惧種 (NT) 岡山県レッドデータブック: 準絶滅種
	絶滅種レッドリスト: 準絶滅危惧種 (NT) 岡山県レッドデータブック: 準絶滅種